

# 高石市総合戦略の基本的方向性について(たたき台) 資料1

国の基本目標: 地域における安定した雇用を創出する

## 市の方向性(1): 雇用の創出・産業活性化の促進

- 市域の約4割を占める臨海工業地域を中心に、企業活動が活発に行われ、製造品出荷額は約9700億円(H25年度)で府内市町村第5位。
- 市域の事業所における従業者数は減少傾向にあり、雇用の創出や創業等の促進が求められる。

国の基本目標: 地方への新しいひとの流れをつくる

## 市の方向性(2): 定住促進・人口流入の促進

- 市域は、大阪中心部のベッドタウンとして発展し、鉄道や高速道路網が整備され、便利で住みやすい環境。
- 市域の世帯数は増加しているが、人口はS60年頃をピークに減少。社会増減は転出超過、自然増減もH24年からマイナス。
- 市域は、空き家など新たに開発等可能なスペースや区域が存在し、その活用を図ることが求められる。

国の基本目標: 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

## 市の方向性(3): 子育て・教育のまちづくり

- 本市では、学校耐震化100%、学校のクーラーやICT機器の整備、中学校給食、小1からの英語教育、待機児童ゼロの達成など子育て教育環境が整備。
- 市域には、公立のほか、私立・民間の機関もあり、これらの特性も踏まえ、子育て・教育施策の充実が求められる。

国の基本目標: 時代に合った地域をつくり、安全なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

## 市の方向性(4)－①: 快適な都市空間の構築

- 本市は、コンパクトで平坦な地形であり、市内の6つの鉄道駅を有し、主要な幹線道路も整備。
- 今後の超高齢化や社会経済環境の変化を見据え、住みよい活力のあるまちづくりが求められる。

## 市の方向性(4)－②: いつまでも健幸で安心して暮らせるまちづくり

- 本市の高齢化率はH26年度で25.4%で、平均寿命も年々伸びており、安心して健幸に暮らせる取組みを実施。また、住み慣れた地域で生涯暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを実施。
- 今後の超高齢化、医療・介護需要の増加を見据え、地域一体となった取組みが求められる。